

① 自己紹介をする



1 自己紹介をする

- 目標**
- ①日本語であいさつすることができる。
 - ②自分の名前、所属、身分などの情報を伝える。
 - ③家族の呼称を知る。家族を紹介する。

トピックのイメージ作り（あいさつのことば）

- ・テキスト P.1 「あいさつのことば」を入れる。
友だち・家族などの親しい関係か、あるいはそれ以外の関係かによって、あいさつのことばが異なる場合があることを伝える。
- ・支援者と学習者で関係を仮に決め、その関係に合ったあいさつをする。
- ・初めて会う人に使う「はじめまして」の後に「私は（名前）です」と名前を入れ、そのあとに「よろしくお願いします」というあいさつを入れる。

はなしましょう！ 1)

P.22

1) わたし は、 鈴木アントニオ です。

- ・ここに出てくる名前はテキストの登場人物の名前である。
(テキスト P.18 「主な登場人物」を参照)
- ・「わたしは です」に自分の名前を入れて自己紹介をする。
- ・③のように男性の場合「ぼくは です」の言い方もあるが、相手が目上の場合は「わたし」のほうが良い。
- ・もし学習者が複数いれば「こちらは さんです」のように、互いの名前を紹介する。
[写真を使って家族を紹介する]
- ・テキスト P.17 「家族の呼び方」を見て、
「こちらは父です」のように写真を見せながら家族を紹介する。



2) 妻 の 王美麗 です。

- ・家族の写真を見せながら「こちらは妻の（名前）です」のように家族の名前も紹介する。

わたし は 国際交流協会 の ボランティア です。

- ・もし学習者に勤め先、学校など所属先があれば「わたしは（所属先の名称）の（身分）です」の言い方を練習する。
- ・「わたし」を家族に置き換えて家族の紹介をする。

会話のことば

P.21

- ・支援者がことばを発音し、学習者は意味を確認しながら後について言う。
- ・学習者に余裕があるようなら、「昨日」以外にも「今日」「明日」のことばを入れる。

会話

P.19-20

- ・支援者が会話文を読み、学習者はP. 20の訳（ポルトガル語、英語、中国語、ベトナム語）を見ながら音と意味を結びつけて理解する。
- ・以下、『本書の使い方(P. 2)』の④会話〈会話の進め方〉を参照。
- ・会話文の内容を確認する。

支援者：・（絵を見せながら）「これ、どうぞ」の「これ」は何ですか

・引っ越します。プレゼントをあげます。

（例えば、お菓子、飲み物、タオルです。）

・学習者さんの国はどうか。



- ・ロールプレイ（役割練習）

⇒引っ越してきた役と隣の人になり、話す練習。自分の名前や、同居する家族やルームメイトがいればその人の名前を入れて、実際の状況に近い文にして会話する。

学習目標を確認して終了

2 国、仕事、日本へ来た理由を話す

- 目標**
- ①どこから来たか伝えることができる。
 - ②日本で何をしているか伝えることができる。
 - ③日本へ来た理由を話すことができる。

トピックのイメージ作り

- ・世界地図を見せて、日本語で、あるいは学習者の母語では、世界各国の国名を何と言うか伝え合う。

はなしましょう！ 1)

P.27

1) A: お **国** は?

B: **ブラジル** です。

- ・「お」が前につくと、丁寧になる。(例: お+母さん、お+父さん)
(学習者に余裕があれば「ご+主人」「ご+家族」など「ご」も紹介)
- ・「お名前は?」「お仕事は?」など「お~は?」の形でできる質問も入れる。
(学習者に余裕があれば「ご家族は?」など「ご」を使った質問もしてみる)

はなしましょう！ 2)

P.28

2) A: どこから 来ましたか。

B: **中国** から 来ました。

- ・「どこから来ましたか」「中国から来ました」だけでなく、「中国のどこから来ましたか」「中国の〇〇から来ました」のように、出身地について詳しく尋ねることもできる。

3) A: 日本で 何を していますか。

B: 会社で 働いています。

- ・ 職業を日本語では、動作の継続として「(動詞) て形+いる」を用いて表す。
(学習者に余裕があればテキスト P.12 の動詞の活用表「て形」を参照する。)
(教え方の手引き 2 課-2 にも「て形」の説明を記載している。)
- ・ もし学習者が難しそうな様子であれば、必ずしも「~ている」を使う必要はない。
1) で練習した「お仕事は？」を質問として使い、「主婦(主夫)です」「研修生です」のように答える。
- ・ 余裕のある学習者には「国で何をしていましたか」のように、「~ています」を「~ていました」に変え、国でしていたことを聞いてみるとよい。

A: どうして 日本へ 来ましたか。

B: 日本に 興味が ありました。 それで、日本へ 来ました。

- ・ 学習者にとって難しい表現もあるが、尋ねられる機会の多い質問なので、練習しておくとうい。

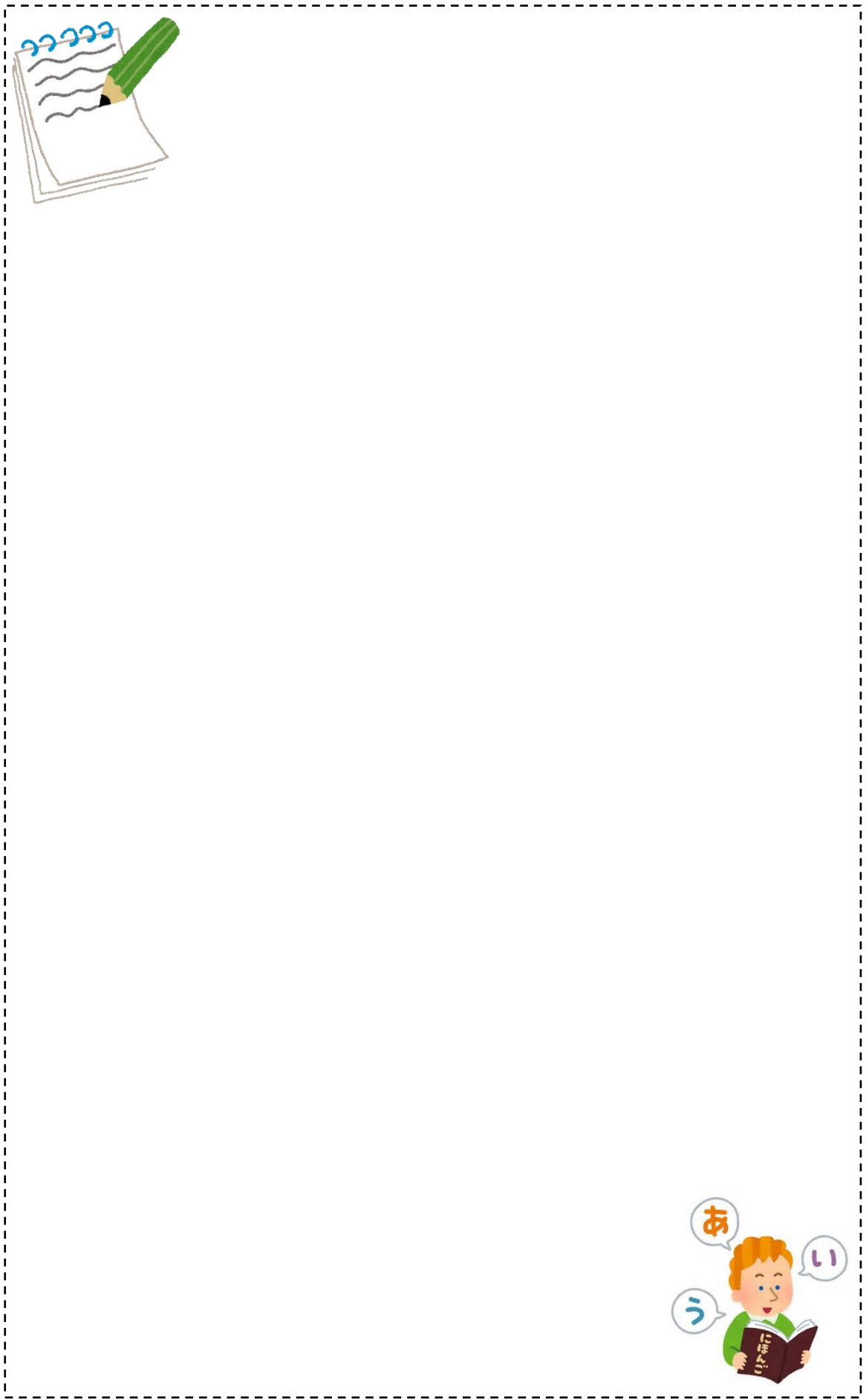
- ・ 支援者がことばを発音し、学習者は意味を確認しながら後について言う。

- ・ 支援者が会話文を読み、学習者はテキスト P.24 の訳(ポルトガル語、英語、中国語、ベトナム語)を見ながら音と意味を結びつけて理解する。
- ・ 以下、『本書の使い方(P.2)』の④会話〈会話の進め方〉を参照。
- ・ 会話文の内容を確認する。

支援者: ・アントニオさんはどこから来ましたか。

- ・アントニオさんの奥さんのお国は？
 - ・アントニオさんと奥さんはどこで会いましたか。
 - ・アントニオさんは日本で何をしていますか。
 - ・アントニオさんはどうして日本へ来ましたか。
- ・ ロールプレイ（役割練習）
⇒支援者が隣の人になり、引っ越してきた人（学習者）に国、仕事、日本へ来た理由について質問する。

学習目標を確認して終了



② 市役所／国際交流協会

1 市役所の受付で



目標 ①市役所の受付でどの課へ行けばいいか尋ねることができる。

トピックのイメージ作り

- ・テキスト P. 29 の写真を見せながら
「どこですか。ここで何をしますか。」と質問する。



会話のことば

P.30

- ・支援者がことばを発音し、学習者は意味を確認しながら後について言う。
- ・「昨日」以外にも「今日」「明日」のことばを入れる。

会話

P.29-30

- ・支援者が会話文を読み、学習者は P. 29-30 の訳（ポルトガル語、英語、中国語、ベトナム語）を見ながら音と意味を結びつけて理解する。
- ・以下、『本書の使い方(P. 2)』の④会話〈会話の進め方〉を参照。
- ・会話文の内容を確認する。

支援者：
 ・アントニオさんはいつ大垣へ引っ越してきましたか。
 ・アントニオさんは今どこですか。
 ・市役所のどこへ行きますか。

はなしましょう！

P.31

1) A: 昨日 大垣へ 引っ越して きました。どこへ 行きますか。

B: 窓口サービス課です。

- ・Bは市役所の受付の人。学習者の状況に応じてAの文を考える。
例えば「昨日、家族が日本へ来ました」「来週、国へ帰ります」など。
- ・会話文 P. 29 にある「すみません」「ありがとう」を入れて話す。

2 市役所で手続きをする

目標 ①手続きのときに言われた質問や指示を理解する。

トピックのイメージ作り

- ・テキスト P. 32 の写真を見せながら
「どこですか。ここで何をしますか。」と質問する。



会話のことば

P.33-34

- ・支援者がことばを発音し、学習者は意味を確認しながら後について言う。
- ・「生年月日」は西暦以外に日本の元号で書くこともあるので、日本の元号で学習者の生年が何年かを伝える。

会話

P.32-33

- ・支援者が会話文を読み、学習者は P. 32-33 の訳（ポルトガル語、英語、中国語、ベトナム語）を見ながら音と意味を結びつけて理解する。
- ・支援者が会話文を読み、学習者は後について言う。
- ・以下、『本書の使い方(P.2)』の④会話〈会話の進め方〉を参照。
- ・会話文の内容を確認する。

支援者：・アントニアさんは何を書きますか。

はなしましょう！

P.34

1) **書いて** ください。

- ・学習者は、P. 34 で「～て／で ください」の意味を訳で確認する。
- ・「～て／で」の動詞の形を「て形」という。
- ・「書く」「待つ」「すわる」「入る」のて形を確認する。

【て形の作り方】テキスト P. 12 参照

※動詞のグループ分けは、テキスト P. 13 参照

○グループ 1 の動詞（五段活用の動詞）

辞書形⇒て形（辞書形とは、辞書に載っている形）

「～う」 「～つ」 「～る」 ⇒ 「～って」

例 「待つ」 ⇒ 「待って」

「すわる」 ⇒ 「すわって」

「入る」 ⇒ 「入って」

「～く」 ⇒ 「～いて」

例 「書く」 ⇒ 「書いて」

○グループ2の動詞（上一段・下一段活用の動詞）

「～る」 ⇒ 「～て」

例 「食べる」 ⇒ 「食べて」

○グループ3の動詞（サ行・カ行変格活用の動詞）

「する」 ⇒ 「して」

「くる」 ⇒ 「きて」

学習目標を確認して終了

3 電話をして通訳をお願いします

- 目標**
- ①日本語で電話することができる。
 - ②通訳をお願いすることができる。



トピックのイメージ作り

- ・テキスト P. 35 の電話をしている絵を見せる。
「日本語で電話をしますか」と質問する。

会話のことば

P.37

- ・支援者がことばを発音し、学習者は意味を確認しながら後について言う。

会話

P.35-36

- ・支援者が会話文を読み、学習者は P. 36 の訳（ポルトガル語、英語、中国語、ベトナム語）を見ながら音と意味を結びつけて理解する。
- ・以下、『本書の使い方 (P. 2)』の④会話〈会話の進め方〉を参照。
- ・会話文の内容を確認する。

- 支援者**：・アントニオさんは市役所から何をもらいましたか。
- ・アントニオさんはその書類の日本語がわかりますか。
 - ・どうして市役所に電話しましたか。
 - ・何語の通訳をお願いしますか。
 - ・今、通訳はいますか。
 - ・アントニオさんはもう一度電話しますか。

- ・ロールプレイ（役割練習）

⇒支援者が市役所の人になり、学習者は電話で通訳をお願いする。

- ・「電話をかける」

P. 11 に電話をかける（あるいは受ける）ときのフローチャートがある。このフローチャートを見ながら、電話をかける側と受ける側に交互になって練習。電話で話すときの表現を知る。

知っているといいです！

P.38

- ・ P. 38 に市役所、国際交流協会、市民病院など、ポルトガル語、中国語、英語の通訳がいる公共施設が紹介されている。
- ・ 支援者がそれぞれの施設の人になり、学習者は電話で通訳をお願いする。

学習目標を確認して終了

4 日本語学習について聞く

- 目標**
- ①日本語学習について尋ねることができる。
 - ②希望の学習方法や希望の学習時間・曜日を伝えることができる。

トピックのイメージ作り

- ・テキスト P. 39 の写真を見せる。
「二人は何をしますか」「どこですか」と質問する。



会話のことば

P.41-42

- ・支援者がことばを発音し、学習者は見て意味を確認しながら後について言う。
- ・テキスト P. 8 を参考に、「ひとり、ふたり・・・」の人数の数え方を確認。
- ・テキスト P. 10 を参考に、月曜日～日曜日まで曜日の言い方を確認。

会話

P.39-41

- ・支援者が会話文を読み、学習者は P. 40-41 の訳（ポルトガル語、英語、中国語、ベトナム語）を見ながら音と意味を結びつけて理解する。
- ・支援者が会話文を読み、学習者は後について言う。
- ・以下、『本書の使い方(P. 2)』の④会話〈会話の進め方〉を参照。
- ・会話文の内容を確認する。

支援者：・ここ（国際交流協会）で日本語の勉強ができますか。

- ・マンツーマンは何ですか。
 - ・日本語教室は何人いますか。
 - ・日本語教室は曜日と時間がありますか。
 - ・アントニオさんはマンツーマンと日本語教室、どちらがいいですか。
 - ・アントニオさんは日本語の勉強はいつがいいですか。
 - ・アントニオさんは登録しますか。
- ・わからないことばの聞き返し
「マンツーマン？」のように、わからないことばがあるとき、そのことばを

繰り返して語尾を上げる言い方がある。会話文を読むときにここでの語尾の上げ方に注意し、聞き返しの練習をする。

はなしましょう！ 1)

P.43

1) A: **いつ** が いいですか。

B: **土曜日** が いいです。

・相手の希望を尋ねる。

①～⑤は「日本語を勉強します。いつがいいですか。」、⑥・⑦は「日本語を勉強します。マンツーマンと日本語教室があります。どちらがいいですか。」のように何についての希望を尋ねるのか伝えてから質問するとわかりやすい。

・他にも、「来週も日本語を勉強します。いつがいいですか」「一緒にごはんを食べましょう。いつがいいですか。」など、状況を設定し、相手の希望を尋ねる練習をする。

・「いつ」だけでなく、「どこ」「何」「誰」「何時」「どれ」「どちら」など、他の疑問詞（テキスト P. 3-5）も使って質問する。

学習目標を確認して終了

③ 買い物をする



1 お店の人に聞く

目標

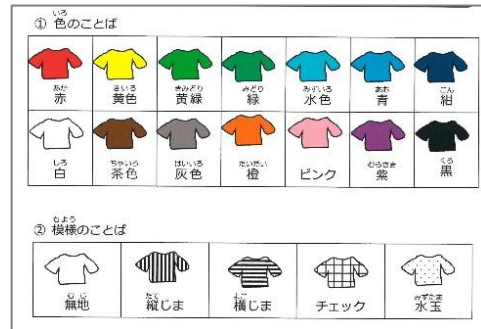
- ① 買いたい物の売り場を尋ねることができる。
- ② 買いたい物の色やサイズを尋ねることができる。
- ③ 商品の名前について知る。
- ④ 色の言葉や模様の言葉を知る。理解する。
- ⑤ 着脱の言葉を理解し、試着の申し出ができる。

トピックのイメージ作り	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本に来てから、何を買いましたか。どこで買いましたか。 など、買い物の経験を尋ねる。 ・ [話せる学習者の場合] 日本での買い物で困った経験について話してもらってもよい。 	
語彙の導入	
1) ~階のいい方。売り場のことば、商品のことば	P.49
<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵を見ながら、1階、2階…など階のいい方の確認。(10階まで数えて確認。テキストP.8参考) ・ 1階の売り場のことばを確認。 それぞれ、何が売っているか。 絵を見て言う。 ・ 2階の売り場のことばを確認。 何が売っているか。絵を見て言う。 ・ [余裕がある学習者の場合] 絵の他に、それぞれの売り場で売っている物を色々挙げてもらってもよい。 (例：文房具売り場には他に何が売っていますか、など、聞いて、語彙を広げていく。) 	



色の言葉、模様のことば

- ・色を見ながらことばを確認。
教室内のものや、自分の持ち物の色を
言ってみる。
同じ教室にいる学習者や支援者について、
「～色の服／靴／…の人は？」と
聞いてみる。



「赤色のペンを出してください。」など、持っているペンの色などで確認。
時間があれば、学習者の好きな色や、その理由について聞いてみる。

- ・模様を見ながらことばを確認。
学習者の服や支援者の服、靴などで上と同様にして確認。

会話のことば

- ・支援者がことばを発音し、学習者は意味を確認しながら後について言う。
- ・[余裕がある学習者の場合]
デパートとスーパーなど、店の種類について話す。
- ・「着る」の他にも着脱に関係のある動詞を確認する。
- ・サイズ対照表を持参し、靴や子供の服について「～センチ」を使った言い方を確認してもよい。

会話

- ・イラストを見ながら場面の確認をする。
- ・支援者が会話文を読み、学習者は P. 46-47 の訳（ポルトガル語、英語、中国語、ベトナム語）を見ながら音と意味を結びつけて理解する。
- ・以下、『本書の使い方(P.2)』の④会話〈会話の進め方〉を参照。
- ・会話文の内容を確認する。

支援者： ・王さん買いたいものは何ですか。
 ・スーパーのどこに売っていますか。
 ・誰の服が買いたいですか。どこで使いますか。
 ・何色ですか。何センチですか。買いたいものはありましたか。

はなしましょう！ 1)**P.49**

1) A : は どこですか。

B : ですよ。

(上級者 : 階 の 売り場ですよ。)

- ・ AとBになって話す練習。
話しながら、売り場の言葉の確認をする。
- ・大垣にある商業施設の地図や、店の売り場の図などを用意して、学習者が今、買いたいものを聞く、支援者がその売り場を教えるという練習をしてもよい。

はなしましょう！ 2)**P.49**

2) この の は ありますか。

- ・買いたい物の、色違いやサイズ違いについて店員に聞く練習。
①～⑤の意味を確認しながら、代入練習をする。
- ・その後で、自分の実際のサイズ(靴、服など)や、今度買いたいかばん、服などの色、模様、大きさ…等をイメージしてもらい、店の人に聞く練習を入れる。
- ・買いたい物のリストと自分の希望を書くような表を作って、話し合いながら埋めていき、その後に聞く練習をしてもよい。
- ・レベルの高い学習者の場合には、「この店には無いんですが、他の店からお取り寄せできますよ。」など、会話を発展させ、少し複雑な交渉の練習を試してみてもよい。

はなしましょう！ 3)**P.50**

3) これ も いいですか。

- ・着脱の動詞を確認。「着る」「はく」「かぶる」「する」のて形を確認する。

【て形の作り方】テキスト P. 12 参照

※動詞のグループ分けは、テキスト P. 13 参照

○グループ 1 の動詞（五段活用の動詞）

辞書形（辞書に載っている形）⇒て形

「～う」「～つ」「～る」⇒「～って」 例「かぶる」⇒「かぶって」

「～く」⇒「～いて」 「はく」⇒「はいて」

○グループ 2 の動詞（上一段・下一段活用の動詞）

「～る」⇒「～て」 例「着る」⇒「着て」

○グループ 3 の動詞（サ行・カ行変格活用の動詞）

「する」⇒「して」

「くる」⇒「きて」

- ・ Vてもいいですか。の意味を確認後、練習。
- ・ 余裕がある学習者の場合には、「食べてもいいですか」、「飲んでもいいですか」、「座ってもいいですか」、など、他の場面で許可を求める練習を入れてもよい。
- ・ 学習者⇔支援者でやりとり。

学習目標を確認して終了

2 レストランに行く

- 目標**
- ①店員のことばを理解し、応答、行動ができる。
 - ②数え方（～人・～つ）について知り、使えるようになる。
 - ③メニューの名前について知る。
 - ④レストランで簡単な注文ができる。

トピックのイメージ作り

- ・最近、外食をしたか、レストランに行ったことがあるかについて話す。
できる学習者には外食の頻度や、よくいくお店について尋ねる。
- ・日本で好きな食べ物を聞く。
できる学習者の場合には、国の食べ物との違い、接客の違いなどを話題にしてもよい。

語彙の導入（「はなしましょう」の絵を使って）

メニューのことば、値段の言い方

P.56

- ・絵を見ながら、食べ物・飲み物の名前について確認。「定食」の説明など。
実際にファミレスなどのメニューを持参し、見せながら活動してもよい。
- ・値段の読み方について確認。わからなかった場合はテキスト P.7 の「数字」を見ながら確認。

会話のことば

P.53 -55

- ・支援者がことばを発音し、学習者は意味を確認しながら後について言う。
- ・レストランの入り口で店員が聞くことを挙げてもらう。
- ・何名様ですか＝何人ですか。
P.8を見ながら「人」の言い方を「ひとり」～「じゅうにん」まで確認。
教室にいる人、家族の人数などに広げて、言ってもらってもよい。
- ・おたばこ、おきまりの「お」、ご注文の「ご」について丁寧な言い方であることを確認。
できる学習者であれば、注文の際などに聞いたことのある「お～」「ご～」の表現を挙げてもらう。
- ・「喫煙席・禁煙席」、「喫煙・禁煙」、「たばこを吸います・吸いません」を確

認。

- ・「ひとつ」から「とお」までP.8を見ながら確認。
- ・「繰り返します。」「以上でよろしいですか。」など店員の決まり文句を確認。できる学習者であればその他、聞いたことがある表現を挙げてもらう。

会話

P.51-53

- ・イラストを見ながら場面の確認をする。
- ・支援者が会話文を読み、学習者は P.52-53 の訳（ポルトガル語、英語、中国語、ベトナム語）を見ながら音と意味を結びつけて理解する。
- ・以下、『本書の使い方(P.2)』の④会話〈会話の進め方〉を参照。
- ・会話文の表現を確認。
 - ・レストランに入りました。店員はいちばん初めに何を聞きますか。
 - ・次に何を聞きますか。
 - ・注文をするとき、アントニオさんは何と言いましたか。
 - ・[できる学習者の場合]「ご注文を繰り返します」はどういう意味ですか。
「どうして繰り返すと思いますか」など、聞く。
- ・会話の練習後、実際にレストランの店員、客役に分かれて、注文する練習をする。

はなしましょう！ 1)

P.56

1) お子様セットを2つとエビフライ定食を2つお願いします。

- ・メニューの言葉と「ひとつ」から「とお」までの言い方を確認する。
- ・上記文型を用いて、注文の練習をする。
- ・余裕がある学習者であれば、「～杯」「～個」など、レストランで使いそうな助数詞を入れてもよい。

学習目標を確認して終了

3 買い物をする

- 目標**
- ①商品の名前を知る。
 - ②値段の言い方を知り、理解する。
 - ③商品の数え方について知り、使えるようになる。
 - ④（対面販売で）商品を選び、買うことができる。
 - ⑤商品の大きさ、形などについて言うことができる。

トピックのイメージ作り

- ・よく行くスーパーについて聞いてみる。どんなものをよく買うか。
よく行く理由は何か、など。
- ・できる学習者に対してはスーパーで売られている商品についての感想を聞く。国との値段の違い、味の違い、販売方法の違いなど。
- ・買い物で困ったことがあるか、経験を聞く。

はなしましょう！ 1)

P.60

- 1) A : この魚、**1匹** いくらですか。
B : **150** 円です。
A : じゃあ **3匹** ください。

- ・問題の中に出てくる食べ物の名前について確認。
その後、「～本」、「～袋」、「～グラム」、「～個」の言い方を確認。(P.8 使用)
- ・値段の読み方を確認。
- ・実際に問題を解いて練習をする。

会話のことば

P.58-59

- ・支援者がことばを発音し、学習者は意味を確認しながら後について言う。
- ・形容詞については、出てくるものだけでなく、反対の意味の言葉も提示しながら進めるとよい。(例：長い⇔短い、高い⇔安いなど)
- ・魚に関する言葉（種類など）の語彙を増やしてもよい。
- ・「いくらですか。」の確認。必要があれば、安くしてほしいときの表現なども

入れる。

会話

P.57-58

- ・イラストを見ながら場面の確認をする。
- ・支援者が会話文を読み、学習者は P. 57-58 の訳（ポルトガル語、英語、中国語、ベトナム語）を見ながら音と意味を結びつけて理解する。
- ・以下、『本書の使い方(P.2)』の④会話〈会話の進め方〉を参照。
- ・会話に出てくる形容詞が理解できたかどうかの確認をする。
 - ・例：・真鯛はどんな魚ですか。
 - ・さんまはどんな魚ですか。
 - ・真鯛は安いですか。
 - ・値段の言い方の確認として、「真鯛はいくらですか」「さんまはいくらですか」「王さんはいくら払いますか」などの質問をする。
- ・会話の練習後、実際に対面販売の店員と客になり、注文をする。
- ・ちらしを見ながらでもよい。

学習目標を確認して終了

4 ちらしを見る

目標

- ①商品の名前や数え方を知る。
- ②ちらしを見ながら内容について人に尋ねることができる。
- ③ちらしに使われる言葉を理解する。
- ④簡単な形容詞を使ってものの説明ができる。

トピックのイメージ作り

- ・ちらしを持参し、一緒に見ながら、知りたいことを聞き出す。
- ・ちらしを利用することがあるか（見て、値段を比較して買いに行く、など）尋ねる。



- ・できる学習者であれば、ちらしが読めるとよいこと（利点）について聞いてみる。

はなしましょう！ 1)

P.64

1) A : いつも どこで 野菜 を 買いますか。

B : ○○で 買います。

○○は **野菜** が **安い** です。

・ A : いつも どこで **名詞** を 買いますか。

・「いつも」について、わからない場合はことば (P.63) を示す。

どこで (**名詞**) を **動詞** ますか。助詞「で」に注意する。

・ 1) の選択肢に出てくるものの名前を確認。

・ ちらしに乗って見ながら合わせる。

・ B : ○○で ^か 買います。

○○は **名詞** が **イA・ナA だ** です。

・ 形容詞について確認 (P.14-16)。「安い」、「新鮮」、「おいしい」以外にも理由になりそうなものを教えてもよい。(量が多い、種類が多い、あたらしい、きれい…など。)

・ 例文確認後、練習。

・ その後、支援者が持ってきたちらしなどを示しながら自分がどこで買うか、理由は何かを話す。

・ 学習者の住居の近くのスーパーなどを調べて、そのちらしを持参してもよい。

・ 時間があれば、学習者の国に行った場合のおすすめのスーパー (お土産売り場など) について聞いてみる。

会話のことば

P.62-64

・ 支援者がことばを発音し、学習者は意味を確認しながら後について言う。

・ 「1本」、「1パック」、「100グラム」など、ちらしに出てくる助数詞を

確認する。

会話

P.60-62

- ・場面の確認をする。
 - ・田中さんと王さんは道で話しています。
 - ・王さんが田中さんに何か聞いています。…など。
- ・支援者が会話文を読み、学習者は P. 61-62 の訳（ポルトガル語、英語、中国語、ベトナム語）を見ながら音と意味を結びつけて理解する。
- ・以下、『本書の使い方(P.2)』の④会話〈会話の進め方〉を参照。
- ・(近所の人など知っている人に) 何かを尋ねる時の切り出し方を確認。
- ・聞き返しの表現。
- ・「～は安いですか？」の「か」と「そうですか…」の場合のイントネーションの違いに気を付けて練習する。
- ・牛肉 100 グラムの値段、の意味。絵にある「100 グラムあたり」の説明をする。
- ・会話練習後、実際にちらしを見ながら、学習者が支援者に尋ねたり、感想を述べたりする（高いですね。安いですね…など）。

知っているといいです！

P.65

ちらしのことば

- ・ちらしを見ながら確認。「割引」、「半額」、「特別価格」などよく使われる基本的なことばを確認。
- ・できる学習者であれば、ここに挙げてある言葉以外にも紹介する。また、学習者が実際にちらしで見たり、スーパーで耳にしてわからなかった言葉などを尋ねる。
- ・大垣市のスーパーが安くなる時間帯、フードシェアリングができるお店の話などに広げてよい。その他、支援者が持っているお店情報などを伝えるような活動ができるとよい。

学習目標を確認して終了